平成30年度上半期取組み調査　　受託法人　ウエオ

			北	都島	福島	此花	中央	西	港	大正	天王寺	浪速	西淀川	淀川	東淀川	東成	生野	旭	城東	鶴見	阿倍野	住之江	住吉	東住吉	平野	西成	集約
（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進の取組状況について	質問1	（ウ）に関連する取組の実施状況について、該当する選択肢番号を入力してください。 1. H29年度以前に実施している 2. H30年度上半期に実施している 3. H30年度下半期以降に実施予定 4. 現時点では未着手	1. 区民が必要とする切れ目のない在宅医療・介護のサービス提供体制のニーズ、あり方の検討	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2	1	1	1	2	2	1.18区　2.6区
			2. 主治医・副主治医制の導入・推進に向けた取組	3	1	3	1	1	4	4	1	4	1	1	3	3	4	3	3	1	4	4	4	3	4	4	4	1. 7区　2.0区 3.7区　4. 10区
			3. 在宅療養中の利用者の急変時診療医療機関や後方病床の確保に向けた取組	1	1	2	1	1	2	2	1	1	1	1	3	1	2	1	3	1	1	2	1	3	1	4	3	1. 14区　2.5区 3.4区　4. 1区
			4. 訪問診療・往診を提供する医療機関と訪問看護St.との連携体制構築への取組	1	1	2	1	1	1	4	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	1	3	1	4	2	1. 16区　2.5区 3.1区　4. 2区
			5. その他（ウ）に該当すると思われる取組　（具体的に記載）	バックベットシステム運用など定期的に関係機関の会議を開催している。	上記の取組み以外に ・入院時のカンファレンスに参加し、退院時に医療的サポートが抜け落ちないようにアドバイスや情報提供をしている。慢性疾患が多く入院する病棟において、入退院を繰り返す患者への退院支援を協働し、退院支援のスキルアップを支援。多職種連携の「見える化」を図るために、多職種連携シンポジウムを開催し、定例化する。	—	病院連絡会での依頼により、入退院時のカンファレンスにCMを呼ぶ回数が増えた	居宅介護・介護関係連絡会・認知症関連団体・地域包括支援センターと三師会の橋渡しを実施	在宅医療連絡部会に、病院の連携担当者と医師に参加して頂くことになった。同会議にて、病院にも在宅医療関係者との連携強化に関して一緒に考える機会を作ることが出来るようになった。	—	—	—	ブルーカードシステムAケアカードシステム在宅ネットワークシステムが医師会で	病病・病診連携懇談会、に～よん診療チーム事例検討会、訪問看護ステーション連絡会	独居、生活保護受給者の看取りについての検討	上記の取組み以外に ・区内4病院の地域連携室と訪問看護師との交流会　・訪問看護連絡会と居宅介護支援事業所との合同研修会 ・区役所保健師と訪問看護師との交流会 ・医療関係者（医科・歯科・薬剤師・訪問看護）介護関係者（地域包括・ブランチ・ケアマネジャー・訪問介護・特養・老健・サ高住等）へのアンケート調査　・医師会・訪問看護師・ケアマネジャーとの在宅医療連携研修会	長期休診時の区内病院との連携、訪問看護、居宅介護支援事業者に対する情報提供、休日の医師同士の連携、定期的な訪問看護ステーションと病院、診療所との連携会の実施	2・主治医、副主治医制については検討段階は終了し実施が未だの状況	推進会議内の課題協議によって、職種同士の相互理解が深まった	区内病院機能に関する研修を実施、担当者同士の顔の見える関係を構築(病.介連携)、アンケートで病院や在宅側が施設連携の際に抱える問題点を抽出	・区内訪問看護事業所へ状況把握調査（アンケート実施）　調査結果を基に区内訪問看護事業所一覧を作成中 ・第2回　こつる会（多職種が集う交流会）を実施・医師会・区内訪問看護事業所連絡会 ・区内介護支援専門員事業所連絡会の合同研修会を行う予定である	阿倍野区地域医療連携合同協議会の設置。ケアマネアンケートより連携に関する課題への取組み	—	—	・区内、近隣区病診連携の会の開催 ・在宅かかりつけ医交流会の開催　・区内病院医療相談室と在宅支援者との連絡会の開催	区内病院相談員と地域包括支援センターとの意見交換会を開催	在宅医療勉強会、区内病院情報交換会、各相談窓口の連携	
	質問3	準備・調整中の場合、実施予定の内容や想定している内容について 実施状況 1. あてはまる 2. あてはまらない	切れ目なく在宅医療と介護が一体的に提供される体制の構築推進について、行政職員や医療・介護関係者とともに検討している。	1	—	2	—	—	1	2	—	1	—	—	2	1	1	1	1	—	1	1	1	1	1	1	1	1.14区　2.3区
	質問4	質問3で 1.あてはまる の理由 実施状況 1. あてはまる 2. あてはまらない	1. 在宅療養中の患者・利用者に対する、主治医を含む複数の医師による対応体制等の取組があり、かつ、取組について介護関係者（介護支援専門員等）と共有する仕組みができている。	2					2			1				2	1	2	2		2	2	2	2	2	2	2	1.2区　2.12区
			2. 在宅療養中の患者・利用者に対する、急変時診療医療機関を確保する取組（後方病床の確保等）があり、かつ、取組について介護関係者（介護支援専門員等）と共有する仕組みができている。	1	—	—	—		1			2		—		2	1	1	2		2	1	2	2	2	2	2	1.5区　2.9区
			3. 在宅療養中の患者・利用者に対する、訪問診療・往診を提供する医療機関と訪問看護ステーションとの連携体制の構築に向けた取組があり、かつ、取組について介護関係者（介護支援専門員等）と共有する仕組みができている。	1					1			1				2	1	1	2		1	2	1	2	1	2	1	1.9区　2.5区
			4. その他の取組がある。（具体的に記載）	歯科医師会　薬剤師会との連携体制。構築への働きかけ(プレゼン)	入院時のカンファレンスに参加し、退院時に医療的サポートが抜け落ちないようにアドバイスや情報提供をしている。慢性疾患が多く入院する病棟において、入退院を繰り返す患者への退院支援を協働し、退院支援のスキルアップを支援		ICTの利用や加入が昨年より増えて来た	居宅介護支援事業者の連絡会に定期参加し情報提供	「病院の連絡・問合せ窓口」一覧を作成し、ケアマネジャーに配布した。	—	—	—	—	上記の取組は医療職を中心に行っており、介護関係者との共有はその次の課題である ・こぶしネット（三師会・行政・民生委員・障がい者団体・介護施設・医療関係者・介護関係者等）が月に1回集まり、ワーキンググループに分れそれぞれの課題について取組みを行っている	—	1. 個別に医師間で連携されていることはある。全体的な取り組みには至っていない。	—	—	—	医療機関とケアマネとの交流会、多職種研修会	—	看護とヘルパー、看護とケアマネの研修開催（連携強化の取組）	—	特に何をすると決まっていない	多職種連携研修実施(今年度全3回予定)	
（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援の取組状況について	質問5	（エ）に関連する取組の実施状況 実施状況 1. H29年度以前に実施している 2. H30年度上半期に実施している 3. H30年度下半期以降に実施予定 4. 現時点では未着手	1. 医療・介護関係者間で共有すべき情報や情報共有のニーズ、共有方法の検討	1	2	1	3	1	2	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	3	3	1	2	1	2	2	1. 13区　2.8区 3.3区　4. 0区
			2. 現在使用されている情報共有ツールやその活用状況の確認	2	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	3	1	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	2	1. 15区　2.8区 3.1区　4. 0区
			3. 地域で充実又は作成するべき情報共有ツールの検討	2	4	1	2	3	2	2	1	2	1	3	1	1	2	3	1	3	3	3	1	2	1	3	2	1. 8区　2.8区 3.7区　4. 1区
			4. 情報共有ツールの導入や利用促進	3	4	1	3	3	2	2	1	4	1	3	1	1	2	1	3	3	3	3	1	3	2	3	3	1. 7区　2.4区 3.11区　4. 2区
			5. 4で導入した情報共有ツールの活用状況や効果についての評価や改善	3	4	3	3	4	3	3	4	4	1	3	3	3	2	2	3	4	4	3	1	3	3	4	4	1. 2区　2.2区 3.12区　4. 8区
			6. その他（エ）に該当すると思われる取組　（下欄に具体的に記載）	情報共有シートの再考	—	—	昨年、事業所独自で作りあげた所があり、区で統一した物に戻す予定。	—	連携シートを多職種間で共有できる様改善した	—	—	—	Aケアカードシステム	ケアマネ退院支援研修、「入退院支援の手引き」学習会	—	施設連絡会によるショート申込用紙の統一、医療・介護連携シートの評価、修正⇒医療・介護・障がい連携シートに変更。歯科医、薬剤師も利用可能なフォーマットに変更予定、地域で利用されているおまもりネット手帳の修正 ・昨年医療・介護連携シートの見直しと修正を行った（こぶしネット連携ツールに依頼）。今後活用状況等について評価が必要。 ・「こぶしネット情報共有シート」「介護申請予診票」の活用状況等についても評価が必要。	在宅療養中の利用者についてケース検討会の研修会を開催し、その中で情報の共有について話しあう機会を作っている。	—	病院の情報提供窓口の明確化を図り、居宅介護支援事業所に周知。	第2回　こつる会カードゲームにおいて、医療・介護連携において必要な事、注意すべき事を調査した	アンケートによる既存の情報ツール活用把握	—	医療情報冊子	—	在宅医療・介護施設情報冊子の作成、配布予定・医介連携のためのエチケット集作成の検討	在宅医療機関情報冊子とHPを作成中	